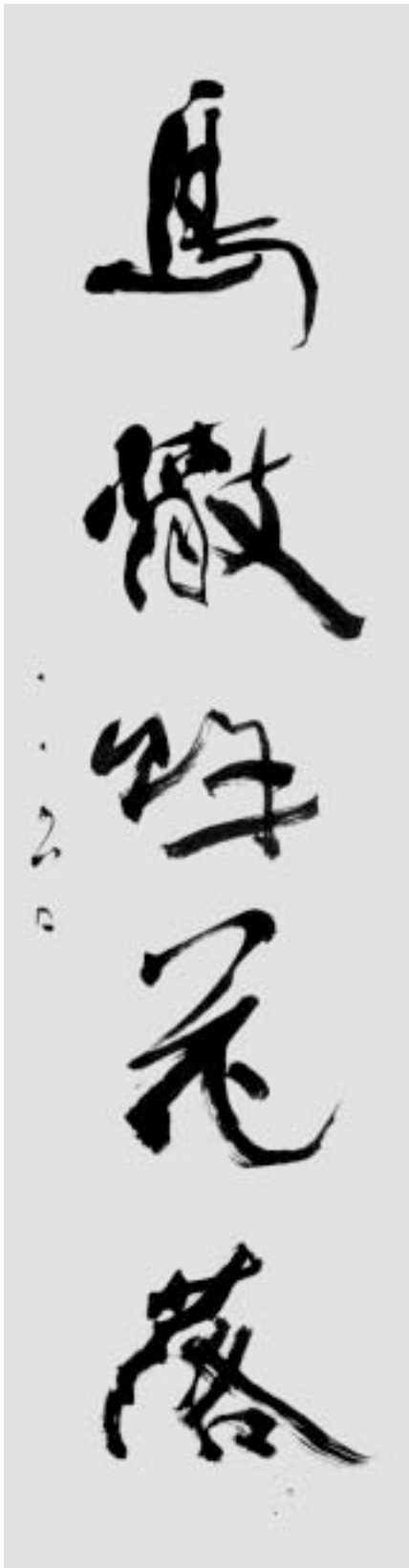


条幅部自由参考

4月25日正午必着

明石春浦先生書



鳥散餘花落 (謝朓)

時やまさに魚戯れて新荷動くを見る。

菅井松雲先生書



せいざんいつけんをかこみ  
 青山圍一縣  
 みどりはそゆかんしやのやなき  
 翠添官舍柳  
 いんいんとしてじんかをみる  
 隱隱見人家  
 こうほうかふえきうのはな  
 香泛驛樓花  
 らんせきこうにまっついで  
 亂石邊江出  
 しょうほうたくをみず  
 不見陶彭澤  
 こはんびをおひてなめなり  
 孤帆帶日斜  
 ほんじょうほあおこる  
 溢城起暮鴉

(解 縉)

過落花村寄姚水部梓嵐 (蔣深)  
 蒲村西十里 隔水澹斜陽  
 花落任何處 人行覺路香  
 雞栖煙箚密 鴉曳暮雲長  
 想見湄潭老 探幽覓句忙

落花村を過ぎて姚水部梓嵐に寄す 蔣深  
 蒲村西のかた十里 水を隔てて斜陽澹し  
 花落ちて何れの処にか在り 人行いて路の香しきを覚ゆ  
 雞は煙箚の密に栖んで 鴉は暮雲の長きを曳く  
 想い見る湄潭に老ゆるを 幽を探ねて句を見むること忙わし

条幅部創作課題

三種の詩文から一種を選択して出品のこと。

孤鶴有聲溪上啄 落花無影月中飛 (吳師道)

一羽の鶴が鳴きながら溪のほとりで何かをつついている。月明かりの中で花が影もなく散ってゆく。

蝶戲魚游

蝶戲れ魚游ぶ

蝶が戯れ飛び、魚が泳ぐ。

每乘月色連宵出  
 特爲梅花破曉行

(葉適)

毎に月色に乗じて宵に連なつて出で  
 特に梅花の為に曉を破つて行く

毎夜、美しい月光にひかれて観月に出かけ、時には朝早く梅を見に出かける。



雨宮春聲先生書

半紙部規定課題A

4月25日正午必着

溪 吾  
上 在  
茲

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

4月25日正午必着

行書

吾在茲  
溪上

隸書

吾在茲  
溪上

明石春浦先生書

草書

吾在茲  
溪上

行草書

吾在茲  
溪上

胸を傷めつつ詩を吟じ、ただひとり歩む すべてに深い感懐をもよおす  
かの人が魚を釣ったところに久しく立ちつくすとき ただ鳥の声がきこえてくるだけ  
山中の蔬菜は雨にうたれて枯れ尽き 水辺の樹木が籬の中にはいりこんではえている  
いまわれこの谷川のほとりにあって 君を懐しみ、悲しみ悼む気持をおし静めることができない

經<sub>二</sub>周處士故居<sub>一</sub>

方干

愁吟與<sub>レ</sub>獨行<sub>一</sub>

何事不<sub>レ</sub>關<sub>レ</sub>情

久立釣魚處<sub>一</sub>

惟聞啼鳥聲<sub>一</sub>

山蔬和<sub>レ</sub>雨歇

海樹入<sub>レ</sub>籬生

吾在<sub>二</sub>茲溪上<sub>一</sub>

懷君恨不<sub>レ</sub>平

周<sub>二</sub>処士<sub>一</sub>が故居を經

方干

愁吟と独行と

何事か情に関わらざる

久しく釣魚の処に立ち

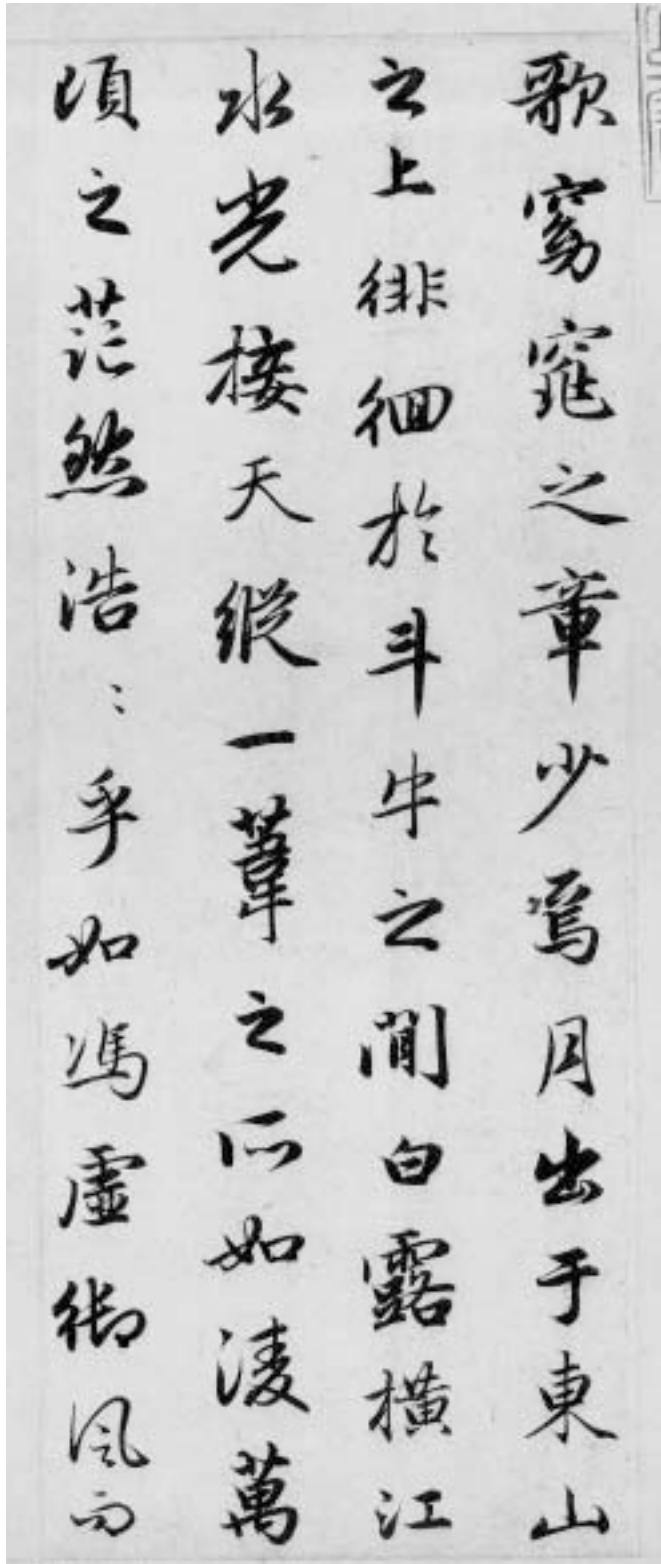
惟だ啼鳥の声を聞く

山蔬 雨に和して歌き

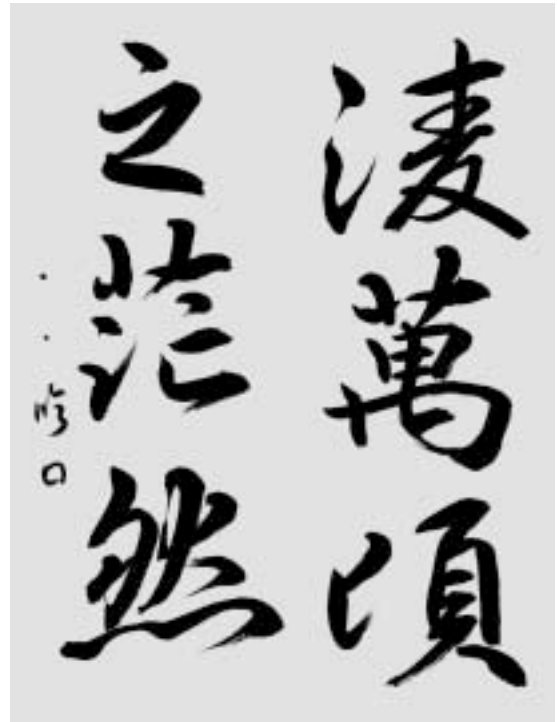
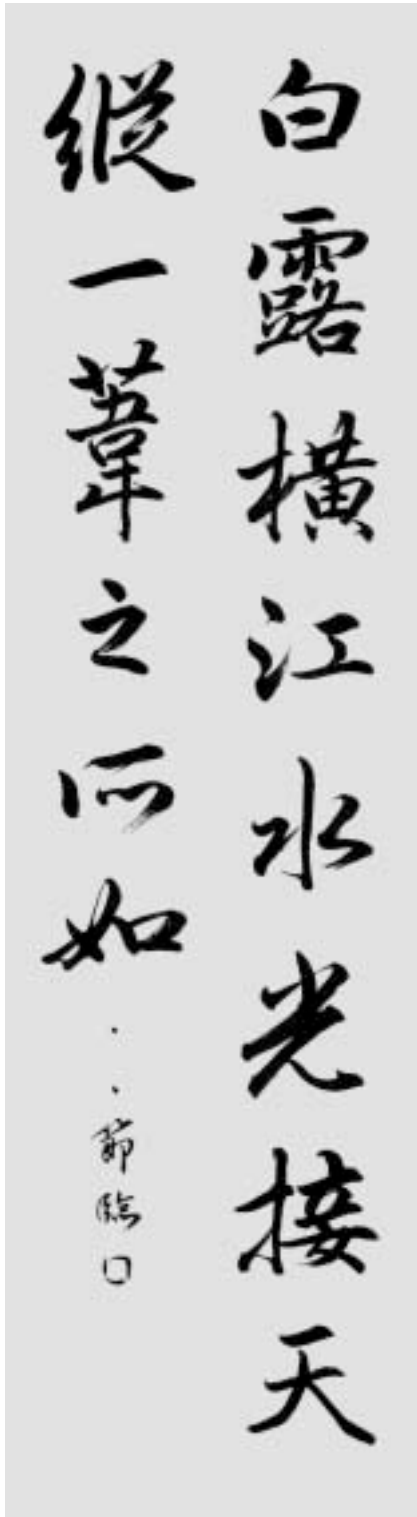
海樹 籬に入りて生ず

吾れ茲の溪上に在りて

君を懐うて 恨み平らかならず



歌窈窕之章。少焉月出于東山之上。徘徊於斗牛之間。白露橫江。水光接天。縱一葦之所如。凌萬頃之茫然。浩浩乎如馮虛御風。而  
 窈窕の章を歌う。少焉して月は東山の上に出で、斗牛の間を徘徊す。白露江に横たわり、水光天に接す。一葦の如く所を縦にして、  
 萬頃の茫然たるを凌ぐ。浩浩乎として虚に馮りて風に御し、而して



元 趙孟頫・前後赤壁賦

趙孟頫（南宋・宝祐二年、一二五四年〜元・至治二年、一三二二年）字は子昂、号は松雪、鷗波。南宋の末裔の生まれで官に補されたが、彼が二十六歳のとき南宋は元に滅亡させられた。しかし、元の世祖フビライに重用され、以来元の五帝に仕え高官の一人としての生活を送った。

彼は元代を代表する芸術家であった。教養のある人物があまり重用されない蒙古民族の支配下においては、中国の伝統文化は価値あるものとして認識されていなかったようであるが、そんな中、彼は書において、二王（王羲之・王献之）を頂点とする晋唐の書を正統と考へ、復古主義を標榜し、多くの共鳴者を得た。

趙孟頫の書はのびやかで美しく、妍麗あるいは婉媚、すなわち女性の美を表現した言葉で評されたが、その反面、弱々しいとか、起伏が足りないなどの批評も免れなかったようである。

前後赤壁賦は蘇東坡の同詩を行書で書いたもので、彼の能書家としての面が最も表出された作品の一つであり、伝統を重んじた優美な彼の書は、明代に入っても多くの追随者を得た。

（春濤）



こう

けつ

中学一年

雨宮春聲先生書



かげ

ろう

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



しゅっ  
出

はっ  
発

小学五年

藤井良泰先生書



き  
起

げん  
源

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



4月25日正午必着



生

糸

小学三年

細谷春誠先生書



合

図

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

く さ 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

こ 犬 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

|           |            |
|-----------|------------|
| もかがやいて見える | 日ぐれ前の湖はもっと |
|-----------|------------|

小学五年

|            |            |
|------------|------------|
| やがて汽車は海に出た | 緑あふれる野をぬけて |
|------------|------------|

小学六年

|          |            |
|----------|------------|
| かがやく湖がある | 森のおくにヒスイ色に |
|----------|------------|

中学

|         |          |
|---------|----------|
| いづなづーの川 | うさぎ追ひまの山 |
|---------|----------|

一般(級位)

|   |   |
|---|---|
| 石はしる垂水の上のさわらびの<br>萌えいづる春になりけるかも<br>(万・志貴皇子) | 夏はしる垂水のさわらびの<br>萌えいづる春になりけるかも<br>(万・志貴皇子) |
|---|---|

一般(段位)

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

|   |   |
|---|---|
| ひ | そ |
| こ | ら |
| う | に |
| き | う |
| ぐ | か |
| も | ん |
|   | だ |

幼年

|   |   |
|---|---|
| か | 字 |
| き | は |
| ま | て |
| し | い |
| よ | ね |
| う | い |
|   | に |

小学一年

|   |   |
|---|---|
| 作 | カ |
| っ | ラ |
| た | ー |
| ヶ | ね |
| ー | ん |
| キ | 土 |
|   | で |

小学二年

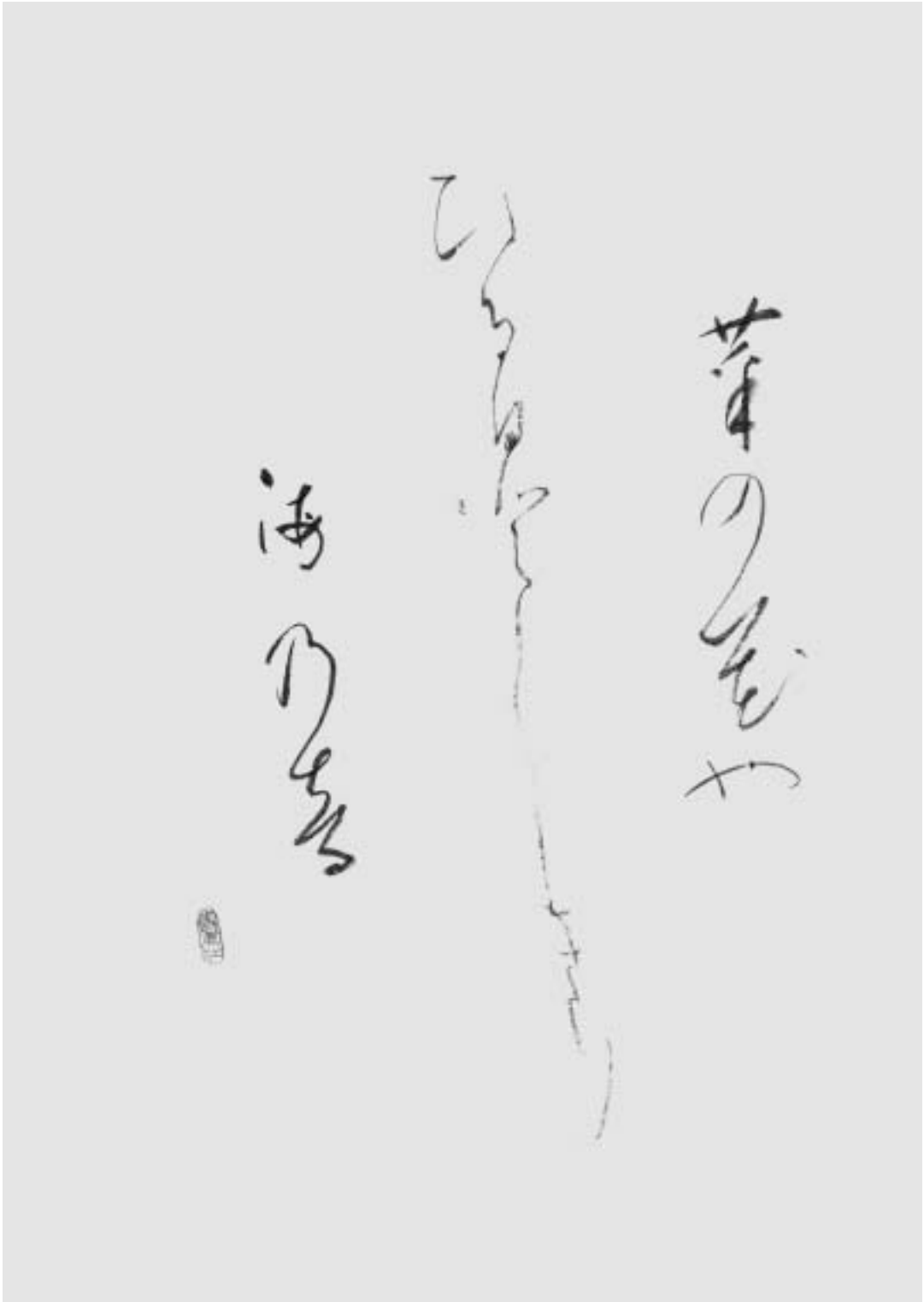
|   |   |
|---|---|
| い | 白 |
| 目 | い |
| の | か |
|   | ら |
| う | だ |
| さ | で |
| ぎ | 赤 |

小学三年

|   |   |
|---|---|
| そ | お |
| ぶ | 花 |
| ニ | 畑 |
| ひ | で |
| き | た |
| の | の |
| 子 | し |
| 犬 | く |
|   | あ |

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



菜の花やひるひとしきり海乃音 (与謝蕪村)

岩本景楓先生書